



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 290

2021/05/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

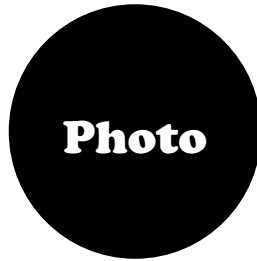
GREEN COLUMN

01. 自由な感性と表現

02. せせらぎ公園花の MAP



今月の一枚



「雪解け模様」

表紙写真・文／久保田結衣

4月中旬、美幌町の市街地で地面や草花が顔を見せ、暖かい季節の訪れを感じられる頃。山間部では雪がまだ見られ、斜面の残雪が雲のような、はたまた羊の群のような？かわいらしい形を作っていました。偶然できた形もまた、思いがけないおもしろさがあります。移ろいゆく季節のバトンタッチを感じました。

Event. 今月のイベント

無料開館「こどもの日」 5月5日（水）

特別展「びほろのアケボノ～旧石器時代の遺跡～」 ～10月24日（日）

親子で野外体験「山菜を探す！食べる！」 5月15日（土）

プチ工房「スクラッチアート」 5月14日（金）、15日（土）

博物館講座（歴史編）「世界が注目するシベリア北極圏の旧石器文化」 5月29日（土）

Information. 参加者募集

プチ工房「スクラッチアート」

●5/14（金）、15（土）①10:00 開始、②14:00 開始。所要時間 90 分～、作品ができたら終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費 300 円、マスク ●鬼丸和幸（美幌博物館） ●美幌博物館へ電話申込み（5/1-13）。小学 3 年生以下は保護者の同伴が必要、各回定員 12 名で締切。

博物館講座（歴史編）「世界が注目するシベリア北極圏の旧石器文化」

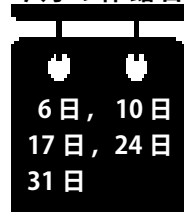
●5/29（土）16:00-17:30 ●美幌町民会館 1F 小ホール ●無料、マスク ●鈴木健治氏（国立アイヌ民族博物館） ●美幌博物館へ電話申込み（5/1-28）。小学生以下は保護者の同伴が必要、定員 50 名で締切、定員に達しない場合は当日参加も可能です。

プチ工房「キャンドルホルダー」

●6/4（金）、5（土）①10:00 開始、②13:00 開始、③14:30 開始。所要時間 45 分～、作品ができたら終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費 500 円、マスク ●町田善康（美幌博物館） ●美幌博物館へ電話申込み（5/1-6/2）。小学 3 年生以下は保護者の同伴が必要、各回定員 12 名で締切。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発熱がある、あるいは体調が優れない方のご参加はお控えください。各イベントは、内容の変更や中止となる場合がございます。また状況により、一時休館となることもございます。事前にお電話でお問い合わせの上、ご参加ください。

今月の休館日



〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用、持ち物 ●講師 ●申込み方法

自由な 感性と表現

絵／横森政明・文／久保田結衣



絵画の中で、心象風景画という言葉の表現を使うことがあります。広く作者の心を反映させた作品のことを指し、技法を問わず現代で多く見られる表現です。美幌博物館で常設展示している中では、横森政明（1927-）や岸本裕躬（1937-2011）が心の内や、独自のフィルターを通してみた光景を描いています。横森政明は自身の生い立ちから、虚無感を伴う美を追求し（写真）、岸本裕躬はモチーフが放つオーラを鋭敏にとらえ、溢れるエネルギーを描きました。

心象風景画を含める自由な表現が生まれる経緯は、18世紀末のヨーロッパに遡ります。近代絵画の先駆者と呼ばれるフランシスコ・デ・ゴヤ（1764-1828）は、美術は技術の形式にとらわれない、自由な感性で描くべきだと唱えました。それまでの美術は、記録や肖像画、宗教画としての役割を

果たしていましたが、ゴヤの影響により自由な表現が広まり、やがてロマン主義や表現主義へと導きます。また、写真技術が普及した1840年頃には、記録としての役割が薄くなり、より一層画家が持つ「個性」や「美的な価値観」が認められ、多くの芸術運動が誕生しました。しかし、第2次世界大戦下の欧州や日本において、自由な表現は弾圧を受け、影を潜めます。終戦を迎えた後に再び認められるようになり、今日にいたるまで、多様な感性による表現が生まれています。

美術といえば、理解するのが難しいと思われることもしばしばですが、解釈や感性は無数に存在し、固定観念にとらわれるものではありません。心象風景画のような作品が発表・鑑賞できることは、自由な個性や感性が受け入れられる時代の象徴だと実感しています。

02 GREEN COLUMN グリーンコラム

せせらぎ公園 花の MAP

写真・文／城坂結実



平成 26 年度の企画展「せせらぎ公園 絵の花散歩道」で配布した、せせらぎ公園花の MAP。美幌町の市街地に広がるせせらぎ公園でみられる花を紹介しているリーフレットです。うれしいことに、皆様にご好評をいただきながら増版を続け、2021 年 3 月にリニューアルして、第 3 版となりました。

この花の MAP には、美幌町在住の渡瀬さんが描いた、花の挿絵がちりばめられています。このリーフレットがみなさまに長く愛されているのは、優しい雰囲気の挿絵のお陰のような気もしています。また、今回のリニューアルでは、花の種類を 10 種類増やしてご紹介しています。茎からぶら下がるピンク色の花がかわいらしい“ツリフネソウ”や、毛の生えたヒトデのような花を咲かせる“ガガイモ”（写真）、ひっそりと咲くので見つけるのが難し

い“エゾタツナミソウ”、草丈が巨大な“オオハナウド”など、季節ごとに色々な花を紹介しています。せせらぎ公園で名前の知らない花を見つけたら、花の MAP で調べてみてはいかがでしょうか。もちろん、掲載されていない種類もたくさんあるので、より詳しく知りたい方は図鑑で調べてみるのもいいですし、美幌博物館にお問い合わせくだされば、分かる範囲でお答えします。

花の MAP は、美幌博物館 1 階ロビーで無料配布しています。せせらぎ公園のお散歩のお供に、ぜひ。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253-4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/bunya/museum/>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



.....
昨年の夏に引越しをして、猫の額ほどの庭を手に入れました。何を植えようか、どんな庭にしようか、他のお宅の庭を眺めながら考えていると、わくわくします。(城坂)